

令和8年度 災害による下水道施設被害(想定)に伴う情報伝達及び実地訓練について

1 目的

下水道施設を管理する職員等の災害発生時の対応能力の向上と危機管理意識の高揚を図ることを目的とする。

2 訓練の方法

災害及び被害想定に基づき、仮想の時間経過に沿って、状況に応じた応急復旧対応等が的確に行えるよう情報の伝達訓練を行う。

併せて、下水道部職員及び運転管理業者は、施設において実地訓練を行う。

3 実施日時 令和8年6月3日(水) 9:00～11:30

4 訓練参加部署 広島市都市整備公社下水道部、広島市下水道局管理部管理課、運転管理業者ほか

5 想定した災害及び被害状況

令和8年6月3日(水)午前9:00に安芸灘を震源とするマグニチュード7.4の地震の発生し、広域停電による処理場・マンホールポンプの電源消失及びマンホールポンプ吐出配管の破損により、機能停止したことを想定した情報伝達訓練を行った。

6 実地訓練

運転管理業者に、自家用発電機が燃料切れで停止した際の対処方法について訓練を行った。



市川農業集落排水処理施設



阿戸農業集落排水処理施設